

令和6年度評価版



®環境省

エコアクション21

認証番号 0010311

エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間: 2024年04月01日～2025年03月31日)



公益社団法人 徳島県環境技術センター

発行日: 2025年07月01日

P	1	環境経営方針
P	2	組織概要及び認証・登録の対象範囲
P	3	エコアクション21の取組実施体制図
P	4	環境経営目標及びその実績(2024年度)
P	5	主な環境負荷の実績と当年度の目標達成状況
P	6	環境経営計画及び取組結果とその評価(2024年度)
	6	・・・温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量の削減 ・電力使用量を削減する ・ガソリン使用量を削減する
	7	・・・廃棄物の削減及び3R(減量・再使用・再生利用)活動の推進 ・一般廃棄物を削減する ・水使用量を削減する
	8	・・・浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進 ・啓発活動・環境学習等実施(P12: 各種環境保全活動・イベント等)
	8	・・・県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動 ・浄化槽教室における受講率
	9	・・・化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理
	10	・・・各支所での取組み及び取組結果とその評価
P	11	環境経営計画(2025年度)
P	12	各種環境保全活動・CSR活動・イベント等
P	22	環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟等の有無
P	23	代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営方針

基本理念

私たち公益社団法人徳島県環境技術センターは、徳島県における唯一の浄化槽指定検査機関として、県民への浄化槽に関する正しい知識の普及、法定検査の受検促進とともに、水環境保全事業活動を通じ、水環境問題及び限りある資源の保護に積極的に取り組み、豊かな経験と確かな技術で「徳島県の美しい水環境」を次の世代へ引き継いでいくことを理念としております。

この理念のもと、全職員が一丸となって、水環境の保全に資する検査等のサービスの高品質かつ効率的な提供の普及・拡大を図るとともに、自らの事業活動に伴う環境負荷の軽減に取り組むなど、環境経営を推進し、その継続的改善に努めます。そして、このことにより、地域の、さらには、地球の環境を保全し、地域社会に貢献します。

行動指針

1. 私たちは次の事項について環境経営目標、環境経営計画を立て継続的な改善に努めます。

- 1) 県民への浄化槽に関する正しい知識の普及
- 2) 法定検査の受検促進
- 3) 温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量の削減
- 4) 廃棄物の削減及び3R（減量・再使用・再生利用）活動の推進
- 5) 水使用の削減
- 6) 化学物質の適正管理

2. 私たちは環境関連法規等を遵守します。

3. 私たちは環境への取り組みを環境経営レポートとしてまとめ公表します。

2024年6月12日

公益社団法人 徳島県環境技術センター

会長 田村 茂人



組織概要及び認証・登録の対象範囲

1.組織概要

◆名称及び代表者名

公益社団法人 徳島県環境技術センター 会長 田村 茂人

◆環境管理責任者及び苦情等担当者連絡先

環境管理責任者 全保 恭章

苦情等担当者 新川 学 富崎 信也

連絡先 088-636-1234

◆認証等について

認証・登録番号 0010311 更新・登録日 2020年11月25日

認証・登録日 2014年11月25日 有効期限 2026年11月24日

◆所在地及び対象事業所

検査センター(事務局) 〒770-8001 徳島市津田海岸町2番33号
TEL:088-636-1234(代) FAX:088-636-1122

各支所

徳島(徳島事務所) 徳島市新蔵町3丁目80番地 徳島保健所庁舎3階

阿南 阿南市領家町野神319 (南部総合県民局 保健福祉環境部阿南庁舎内)

阿北 吉野川市鴨島町字鴨島106-2(吉野川保健所内)

美馬 美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73 (西部総合県民局 美馬庁舎内)

◆事業内容等

- ・浄化槽の法定検査事業
- ・濃度計量証明事業
- ・浄化槽普及啓発・講習会・環境広報活動

事業年度 4月～3月

事業規模 売上 544 百万円 (令和7年3月期)

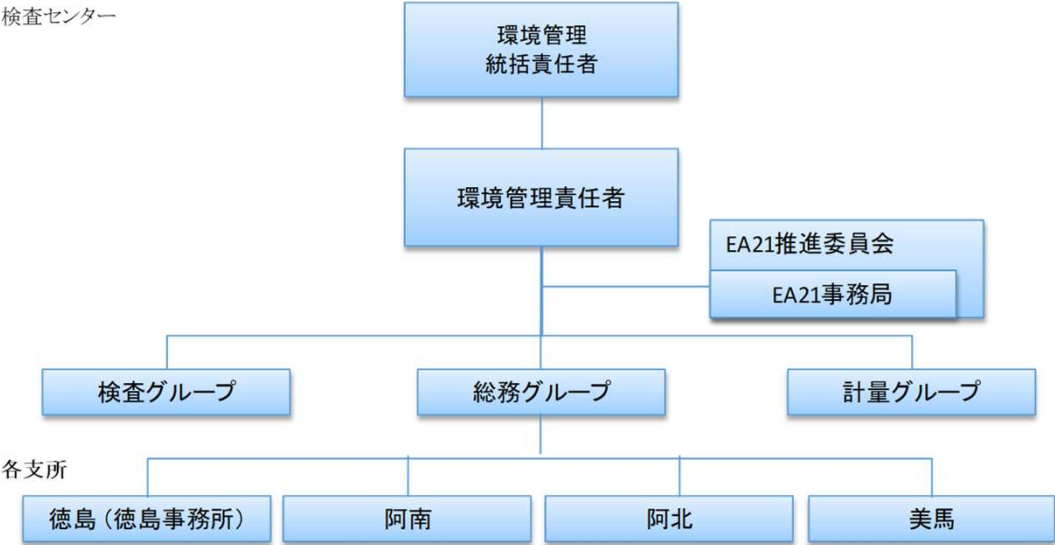
従業員数 81 人

2.認証・登録の対象範囲

上記「1.組織概要」に示す全組織・全活動

◆ エコアクション21の取組実施体制図

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
環境管理統括責任者 (会長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営システムの実施に必要な資源（人、物、金、情報）への投資等の承認 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標、環境経営計画を承認 - EA21全体の取組状況に関し、環境管理責任者の行う評価・見直しの実施結果を踏まえて、経営トップとして評価・見直しを実施 - 環境経営レポートの承認 - 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 (専務理事)	- 環境経営システムを構築し、運用する為にEA21推進委員会を設立する - EA21推進委員会を運営し、環境経営システム全体の舵取りを実施 - 環境経営目標、環境経営計画を確認 - EA21の環境関連文書類（環境経営方針を除く）の承認 - 環境関連法規等の遵守状況の承認 - EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しの実施 - 上記結果を環境管理統括責任者へ報告 - 教育訓練（緊急事態を含む）の実施を指示 - 環境経営レポートの確認 - 是正・予防処置の決定・指示
EA21推進委員会 (EA21事務局に任命された推進委員) ※主に課長補佐以上	- EA21全体の取組状況に関し、確認・評価・見直しのための報告資料として各グループ内における問題点・是正・予防処置を取りまとめる - 環境活動の実績（取組・負荷）の評価 - 各グループ・職場における環境活動の推進
EA21事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21の事務局 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び遵守状況の確認と評価 - 環境への負荷・取組の自己チェック及び取りまとめの実施 - EA21の環境経営目標、環境経営計画の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境経営レポートの作成および管理 - 環境関連の社内外の窓口
グループ長 (EA21事務局に任命されたもの及び検査係長以上)	- 自グループにおける環境経営システムの実施状況の把握と事務局への報告 - 環境経営方針、自グループにおける環境活動・目標の周知 - 自グループの関連する法規制等の教育・訓練を実施する - 自グループの緊急事態への予測及び対応の試行・訓練を実施する - 自グループの問題点の発見、是正、予防処置を事務局へ報告する - 社内外の環境情報の収集と事務局への伝達
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 目的達成のためにEA21事務局の意見や指導を遵守する - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

◆

環境経営目標及びその実績(2024年度)

項 目 環境経営方針と整合		年 度	基準値 (3ヵ年平均)	中期目標					
				2024年度		2025年度		2026年度	
		基準年度	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
《定量化できる項目》									
二酸化炭素を削減する。 調整後排出係数 0.384 kg-CO ₂ /kWh (2023年度実績値)	kg-CO ₂	230,278	229,126	242,579	227,975		226,824		
		(3ヵ年平均)	-0.5%	5.3%	-1.0%		-1.5%	-100.0%	
電力使用量を削減する。	kWh	215,470	214,393	259,175	213,315		212,238		
		(3ヵ年平均)	-0.5%	20.3%	-1.0%		-1.5%	-100.0%	
ガソリン使用量を削減する。	L	63,329	63,012	61,319	62,696		62,379		
		(3ヵ年平均)	-0.5%	-3.2%	-1.0%		-1.5%	-100.0%	
一般廃棄物を削減する。	kg	5,140	5,114	5,030	5,089		5,063		
		(3ヵ年平均)	-0.5%	-2.1%	-1.0%		-1.5%	-100.0%	
水使用量を削減する。	m ³	1,842	1,833	1,583	1,824		1,814		
		(3ヵ年平均)	-0.5%	-14.1%	-1.0%		-1.5%		
《定性的項目》									
浄化槽法定検査(11条)の 受検率向上の推進 (啓発活動・環境学習等実施)	回	40	40	44	40		40		
		(3ヵ年平均)	+0.0%	10.0%	+0.0%		+0.0%		
県民への浄化槽に関する 正しい知識の普及活動 (浄化槽教室受講率)	%	68.6%	69.1%	68.6%	69.6%		70.1%		
		2023年度	+0.5%	0.0%	+1.0%		+1.5%		

※目標は基準値比により算出しております。

※化学物質使用量・産業廃棄物排出量について

当事業所は、水質分析業務に化学物質を使用していますが、公定法に基づき分析を行っているため、化学物質の使用量は決められた量となります。したがって、化学物質の使用量については、削減目標を掲げるのは困難と判断し、環境経営目標項目に入れておりません。

また、当事業所の産業廃棄物排出量は、全て水質分析業務から排出されるため、同理由により環境経営目標項目から除外します。

※二酸化炭素の削減に関しては、目標を視覚化するため、電気使用量、ガソリン使用量としました。

- ◇「ガソリン使用に伴う二酸化炭素の削減」
- kg-CO₂ ⇒ L
- ◇「電力使用に伴う二酸化炭素の削減」
- kg-CO₂ ⇒ kWh

※環境経営目標「県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動」の受講率計算根拠を変更しました。

・浄化槽教室受講者数/浄化槽設置申請数(届出書/計画書) ⇒ 浄化槽教室受講者数/浄化槽教室案内数

※2021～2023年度の3ヵ年平均を基準値とし、2024～2026年度の3ヵ年を中期目標としました。



主な環境負荷の実績と当年度の環境経営目標達成状況

(評価運用期間：2024/04/01～2025/03/31)

		基準値 (3カ年平均)	2024年度	2025年度	2026年度
※ 延 べ 床 面 積	m ²	1,500	1,500		
職 員 数	人	80	81		
温 室 効 果 ガ ス 排 出 量	kg-CO ₂	230,278	242,579		
電 気 使 用 量	kWh	215,470	259,175		
ガ ス 使 用 量	kg	170.2	231.2		
ガ ソ リ ン 使 用 量	ℓ	63,329	61,319		
水 道 使 用 量	m ³	1,842	1,583		
総 排 水 量	m ³	1,866	1,612		
一 般 廃 棄 物 排 出 量	kg	5140.9	5030		
産 業 廃 棄 物 排 出 量	t	0.26	0.25		

※延べ床面積は環境負荷の計測が可能な検査センターのみの面積となります(駐車場スペース除く)。

◆当年度目標達成状況

《定量的項目》

(評価運用期間：2024/04/01～2025/03/31)

環境経営目標		目標値	実績値	達成率	判定
二酸化炭素を削減する	kg-CO ₂	229,126	242,579	94.5%	△
電気使用量を削減する	kWh	214,393	259,175	82.7%	×
ガソリン使用量を削減する	L	63,012	61,319	102.8%	○
一般廃棄物を削減する	kg	5,114	5,030	101.7%	○
水使用量を削減する	m ³	1,833	1,583	115.8%	◎

《定性的項目》

(評価運用期間：2024/04/01～2025/03/31)

法定検査受検推進のための 各種環境活動	40回	44回	110.0%	◎
県民への浄化槽に関する正しい 知識の普及活動(浄化槽教室受講率)	69.1%	68.6%	99.0%	△

達成率凡例	～ 90 %	×	100 ～ 110 %	○
	90 ～ 100 %	△	110 ～ %	◎

定量的項目：達成率(%)＝目標値／実績値×100

定性的項目：達成率(%)＝実績値／目標値×100

環境経営計画の取組結果とその評価(2024年度)

◆温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量の削減

【環境経営目標】電力使用量を削減する。基準値に対し、2024年度内に0.5%削減。

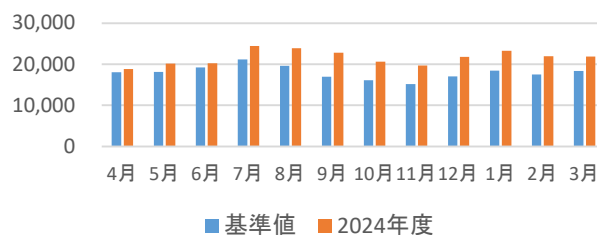
実施責任者:EA21事務局

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・必要な区域・時間帯のみでの空調	通年 ○	取組継続
・空調の適温化(夏季冷房28℃ 冬期暖房20℃)	通年 ○	取組継続
・OA機器の省電力設定	通年 ○	取組継続
・照明の不要時消灯	通年 ○	取組継続
・エレベーターの使用方法の励行	通年 ○	取組継続
・ブラインド等での熱の出入調整	夏:5~10月 冬:12~3月 ○	取組継続
・クール/ウォームビズの実施	夏:5~10月 冬:12~3月 ○	取組継続

取組結果とその評価

- ・目標は達成できませんでした。
- ・年間通して目標値が未達成となっており、作業スペースの拡大等での消費量の増加と考えられましたが、今後は会社全体での電力使用量の内訳の究明と目標値の見直しを含む検討が必要になるかと思います。
- ・クールビズ/ウォームビズの実施や空調の適温化など取り組みについては適切に取り組んでいます。
- ・次年度も取り組みを継続します。

電力使用量(基準値・実績値)



【環境経営目標】ガソリン使用量を削減する。基準値に対し、2024年度内に0.5%削減。

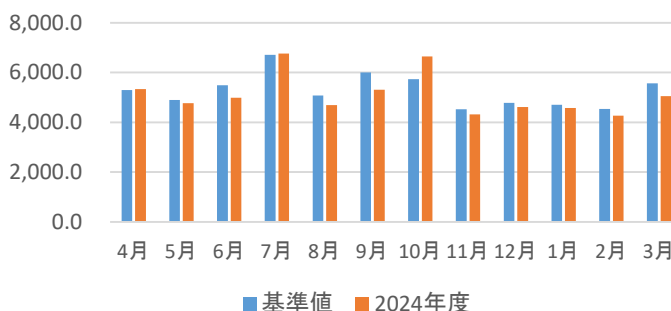
実施責任者:当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・エコドライブの啓発	通年 ○	取組継続
・エコドライブの教育実施	通年 ○	取組継続
・エコドライブの励行	通年 ○	取組継続
・自動車の日常点検実施	1回/月 ○	取組継続
・デジタルタコグラフでの運行管理	1回/日 ○	取組継続

取組結果とその評価

- ・目標は達成できました。
- ・取り組みは適切に取り組んでいます。
- ・毎月末での業務車両日常点検やデジタルタコグラフチェックにより、エコドライブが職員にも継続的に浸透しています。また、教育訓練により、安全運転への意識も向上しています。
- ・次年度も取り組みを継続します。

ガソリン使用料-L-(基準値・実績値)

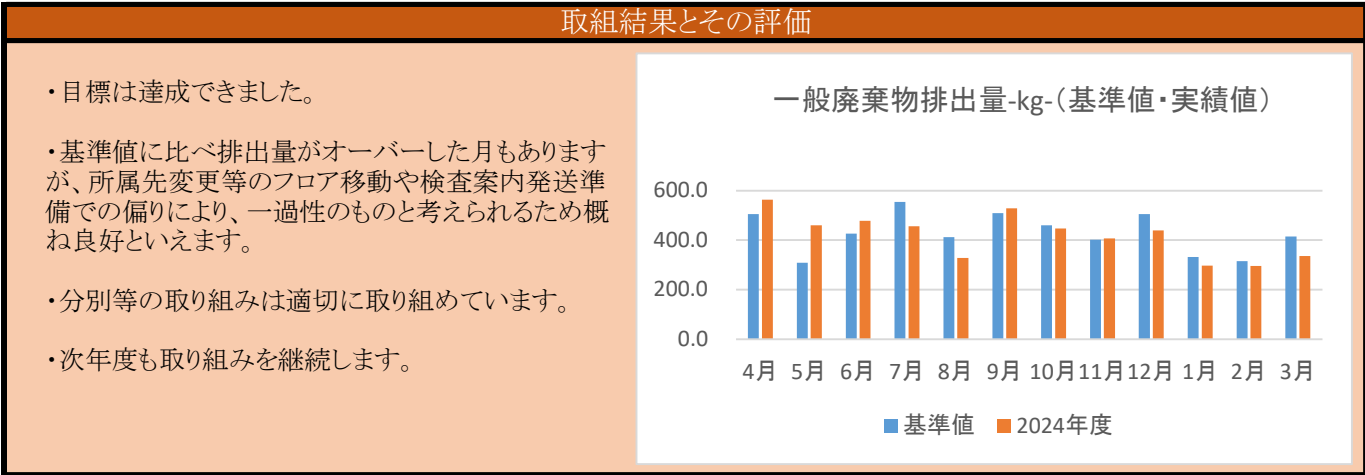


◆廃棄物削減及び3R(減量・再使用・再生利用)活動の推進

【環境経営目標】一般廃棄物を削減する。基準値に対し、2024年度内に0.5%削減。

実施責任者:当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度 取組内容
・詰替可能事務用品等の購入	通年 ○	取組継続
・印刷物等の残部が出ないように工夫し印刷	通年 ○	取組継続
・パンフ有効期限等、無駄のない発注	通年 ○	取組継続
・廃棄時分別。可能なものはリサイクル	通年 ○	取組継続
・廃棄物の分別の啓発	通年 ○	取組継続
・廃棄物の分別の励行	通年 ○	取組継続

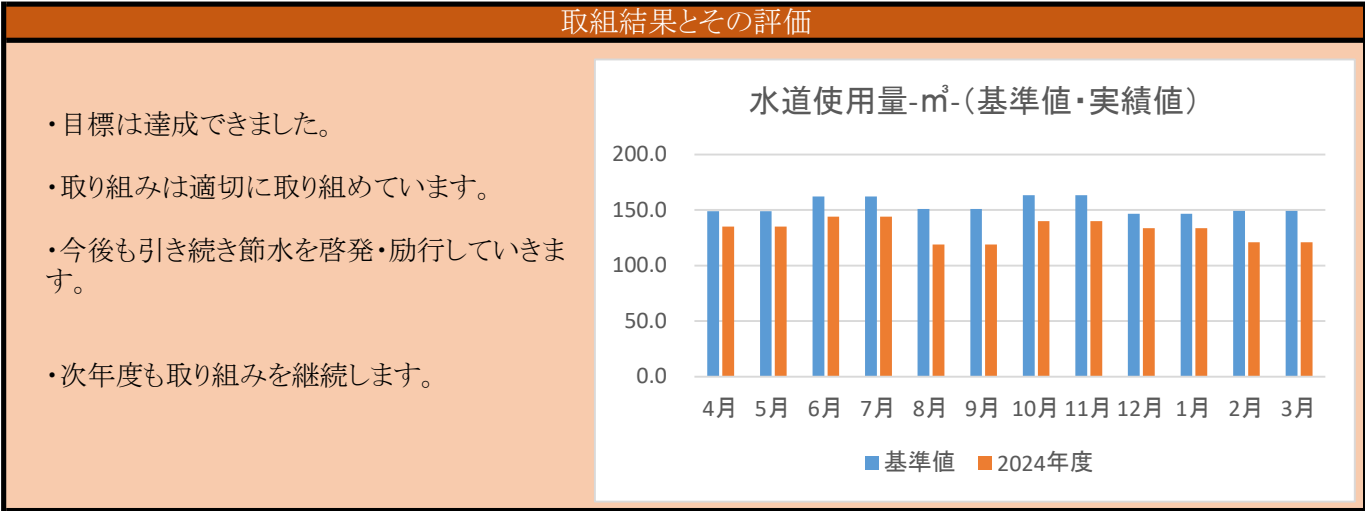


◆水資源の節水

【環境経営目標】水使用量を削減する。基準値に対し、2024年度内に0.5%削減。

実施責任者:EA21事務局

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度 取組内容
・節水シール等での節水啓発	通年 ○	取組継続
・各部署職員節水の励行	通年 ○	取組継続



◆浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進

環境コミュニケーションの一環として、子供向け啓発事業である環境教室、水の大切さを知ってもらうため夏休みの宿題のポスターコンクール、また、環境保全の意識高揚を図り、イベントや各種ボランティア活動への積極的な参加を行っています。これら環境コミュニケーションの取組実施により浄化槽法定検査の受検率向上の推進をはかります。

【環境経営目標】浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進 (啓発活動・環境学習等実施)

実施責任者: 当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度 取組内容
・啓発活動・環境学習等実施状況	通年 ◎	取組継続

取組結果とその評価

・目標は達成できました。

・以下のとおり取り組んでいます。

【CSR・パークアドプト】

今年度も4月の津田の六右衛門まつりへの参加、6月のリフレッシュ瀬戸内(金磯海岸清掃ボランティア活動)が開催され、地域貢献・社会貢献を実現しました。

また、毎年恒例行事である環境月間エコ工作が6月に、サイエンスフェア2024が11月に行われ、使用済みの牛乳パックやペットボトルを利用し、エコ工作を実施。マイクロプラスチック問題やゴミの削減について、子供たちに楽しく学んでもらうよい機会となりました。

パークアドプト運動(草刈り)も例年通り実施し地域密着型の団体として活動を行っています。

【浄化槽月間-街頭啓発活動等】

今年度も県内4箇所の大型ショッピングセンターにおいて啓発活動の場を頂きました。パンフレットの配布やアンケートの実施を行い、多くの県民に浄化槽の適正な維持管理及び、合併浄化槽への転換を働きかける事ができ手ごたえを感じました。

【環境学習講座】

今年度は、県内小学校27校での実施となりました。水の大切さや、汚水処理の必要性、目に見えない水の汚れについて、深い関心を持って学んでもらい、座学後の水の実験講座は子供たちに大好評でした。

【ポスターコンクール】

未来を担うこどもたちに、水の大切さを知ってもらうため、夏休みの課題「浄化槽の日」のポスターコンクールが今年度も開催されました。令和6年度のコンクールは小学生の部・中学生の部、計85名の応募を頂き、全28名の作品が受賞となりました。最優秀賞、優秀賞の受賞者8名(小学生の部、中学生の部それぞれ1点、3点)は、表彰式が執り行われ、徳島県政策監より表彰を頂きました。

・次年度も取り組みを継続します。

◆県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動

【環境経営目標】県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動(浄化槽教室における受講率)

実施責任者: 当該グループ長

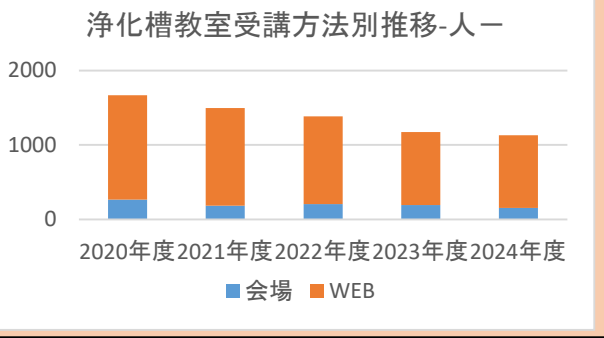
取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度 取組内容
・浄化槽教室の開催状況	通年 ◎	取組継続

取組結果とその評価

・目標は達成できませんでした。

今年度は年間20会場の開催となりました。申請数の減少により受講者数は減少傾向が続いていますが、インターネットでの受講は安定した受講数となっています。また、会場での受講でも教室内容の充実化などを図り、多くの浄化槽設置者様に浄化槽に関する正しい知識を学んでいただきました。

・次年度も取り組みを継続します。



《化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理》

化学物質使用量の適正管理

当事業所の化学物質使用量は、濃度計量証明事業の業務遂行上、公定法に基づく使用量が排出量となるため、削減等が出来ません。環境目標からは除外していますが適正な管理・委託処分に取り組んでおります。

実施責任者: 当該グループ長

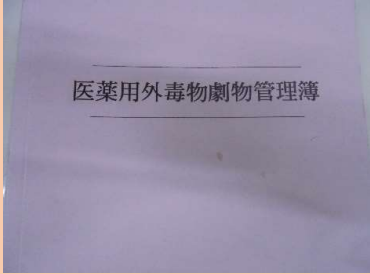
取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度 取組内容
・適正な保管に関する管理状況	通年 ◎	取組継続
・分析に関わる使用量の管理状況	通年 ◎	取組継続

取組結果とその評価

使用頻度は少ないですが、定期的な教育訓練により、試薬の保管、取り扱い方法についても共有認識の一致を図っています。また、在庫量の把握を行い、医薬用外毒物劇物の管理簿を作成しています。

・次年度も取り組みを継続します。





産業廃棄物排出量の適正管理

当事業所の産業廃棄物排出量は、全て水質分析業務から排出されるため、同理由により環境目標項目から除外します。

実施責任者: 当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度 取組内容
・適正な保管に関する管理状況	通年 ◎	取組継続
・適正な処分に関する管理状況	通年 ◎	取組継続

取組結果とその評価

産業廃棄物の保管、廃棄依頼から処分までの各工程においても適正に取り組んでいます。

マニフェスト管理については、データベース化されており、適正に管理されています。

また、毎年の産業廃棄物管理票交付等状況報告書も遅延なく提出しています。

・次年度も取り組みを継続します。



◆各支所での取組み及び取組結果とその評価

【環境経営目標】電力使用に伴う二酸化炭素を削減する。

実施責任者:当該グループ長

取組計画		達成状況			
		次年度取組内容			
		徳島	阿南	阿北	美馬
・OA機器の省電力設定	通年	◎	◎	◎	◎
		継続	継続	継続	継続
・照明の不要時消灯	通年	◎	-	-	-
		継続	-	-	-
・クール/ウォームビズの実施	夏:5~10月 冬:12~3月	◎	◎	◎	◎
		継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(4支所総括)

- ・各庁舎のルールに従い、休憩時の消灯、節電に取り組んでいます。
- ・使用しない箇所の消灯を徹底し、電気製品も使用時のみコンセントを差す等、積極的に取り組んでいます。
- ・制服についても気温の変化によって早い時期から夏服を着用できるようにし、ひざ掛け・カーディガン等でのウォームビズも継続して実施しています。

- ・次年度も取り組みを継続します。

【環境経営目標】一般廃棄物を削減する

実施責任者:当該グループ長

取組計画		達成状況			
		次年度取組内容			
		徳島	阿南	阿北	美馬
・廃棄物の分別の励行	通年	◎	◎	◎	◎
		継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(4支所総括)

- ・各支所ともに庁舎のルールに従い、適正に分別、廃棄に取り組んでいます。
- ・裏紙の再利用(可能な支所のみ)やペーパーレス化を進め無駄な紙の使用を削減しました。
- ・カン・ビン・PET等の分別を徹底し、マイ水筒持参を年間を通して取り組む事で、紙コップの使用等、廃棄物を減らす取り組みも行っています。

- ・次年度も取り組みを継続します。

【環境経営目標】水使用量を削減する

実施責任者:当該グループ長

取組計画		達成状況			
		次年度取組内容			
		徳島	阿南	阿北	美馬
・各職員節水の励行	通年	◎	◎	◎	◎
		継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(4支所総括)

- ・各支所、各庁舎の掲示に従い、節水を励行しています。
- ・トイレ用擬音装置を使用するなどの節水にも取り組めており、雨水の再利用による植物への水やりにも取り組みました。

- ・次年度も取り組みを継続します。



環境経営計画(2025年度)

取組目標	取組項目	実施期間	責任者
電力使用量を削減する。	- 必要な区域・時間帯のみでの空調 ○ 照明の不要時消灯 ○ OA機器の省電力設定 - ブラインド等での熱の出入調整 - エレベーターの使用方法的励行	通年	EA21事務局
	- 空調の適温化（夏季冷房28℃ 冬期暖房20℃） ○ クール/ウォームビズの実施	夏:5～10月 冬:12～3月	
ガソリン使用量を削減する。	- エコドライブの啓発 - エコドライブの教育実施 - エコドライブの励行	通年	当該グループ長
	自動車の日常点検実施	1回/月	
	デジタルタコグラフでの運行管理	1回/日	
一般廃棄物を削減する。	- 詰替可能事務用品等の購入 - 印刷物等の残部が出ないように工夫し印刷 - パンフ有効期限等、無駄のない発注 - 廃棄時分別。可能なものはリサイクル - 廃棄物の分別の啓発 ○ 廃棄物の分別の励行	通年	当該グループ長
水使用量を削減する。	○ 節水シール等での節水啓発 ○ 各部署職員節水の励行	通年	EA21事務局
浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進(啓発活動・環境学習等実施)	啓発活動・環境学習等実施状況	通年	当該グループ長
・県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動(浄化槽教室における受講率)	浄化槽教室の開催状況	通年	当該グループ長
化学物質使用量の適正管理	- 適正な保管に関する管理状況 - 分析に関わる使用量の管理状況	通年	当該グループ長
産業廃棄物の適正管理	- 適正な保管に関する管理状況 - 適正な処分に関する管理状況	通年	当該グループ長

※取組項目の「○」について:支所での取組項目となります。

各種環境保全活動・CSR 活動・イベント等

「リフレッシュ瀬戸内」・金磯海岸の水質検査・海岸清掃ボランティアを実施しました。

1. 開催日時 令和 06 年 06 月 08 日
2. 開催場所 小松島市 横須・金磯海域
3. その他 なし



「パークアドプト清掃活動」を実施しました。

1. 開催日時 ① 令和 06 年 05 月 31 日 ② 令和 06 年 10 月 24 日 ③ 令和 06 年 12 月 17 日
④ 令和 07 年 02 月 18 日
2. 開催場所 津田公園
3. 参加 ① 9 名 ② 12 名 ③ 12 名 ④ 7 名
4. その他 なし



① 令和 06 年 5 月 31 日



② 令和 06 年 10 月 24 日



③ 令和 06 年 12 月 17 日



④ 令和 07 年 02 月 18 日

「浄化槽月間」の啓発活動を実施しました。

浄化槽月間に県下4地域で浄化槽の適正な維持管理及び合併浄化槽への転換を働きかけました。

1. 開催日 ① 令和06年10月21日 ② 令和06年10月24日 ③ 令和06年10月30日
④ 令和06年10月31日
2. 開催場所 ① 鳴門市 マルナカパワーシティ鳴門
② 阿南市 ショッピングプラザアピカ
③ 三好市 フレスポ阿波池田
④ 東みよし町 マルナカ三加茂
3. その他 なし



① 令和06年10月21日



② 令和06年10月24日



③ 令和06年10月30日



④ 令和06年10月31日

- ・「環境学習出前講座」、「子供向け環境啓発活動（イベント）」を実施しました。

環境学習出前講座 27回

環境啓発活動 5回

開催日時／開催場所

開催日	事業内容	開催場所
令和6年6月01日	環境月間イベント	あすたむらんど徳島
令和6年6月18日	環境学習講座（第1回）	阿波市立八幡小学校
令和6年6月19日	環境学習講座（第2回）	阿波市立伊沢小学校
令和6年6月20日	環境学習講座（第3回）	徳島市立内町小学校
令和6年6月27日	環境学習講座（第4回）	鳴門市立桑島小学校
令和6年6月28日	環境学習講座（第5回）	藍住町立藍住西小学校
令和6年7月02日	環境学習講座（第6回）	徳島市立南井上小学校
令和6年7月04日	環境学習講座（第7回）	吉野川市立鴨島小学校
令和6年7月05日	環境学習講座（第8回）	神山町立神領小学校
令和6年7月08日	環境学習講座（第9回）	三好市立池田小学校
令和6年7月10日	環境学習講座（第10回）	吉野川市立西麻植小学校
令和6年7月12日	環境学習講座（第11回）	阿南市立今津小学校
令和6年7月17日	環境学習講座（第12回）	吉野川市立学島小学校
令和6年7月27日	夏休み出勤！ 川の調査探検	阿南高専
令和6年8月05日	環境学習講座（第13回）	板野町立板野西小学校
令和6年8月24日	エコみらいとくしま 夏×自由×探求！	エコみらいとくしま
令和6年8月27日	環境学習講座（第14回）	鳴門市立堀江南小学校
令和6年9月04日	環境学習講座（第15回）	小松島市立小松島小学校
令和6年9月05日	環境学習講座（第16回）	鳴門市立黒崎小学校
令和6年9月06日	環境学習講座（第17回）	美波町立由岐小学校
令和6年9月10日	環境学習講座（第18回）	吉野川市立森山小学校
令和6年9月11日	環境学習講座（第19回）	徳島市立城東小学校
令和6年9月12日	環境学習講座（第20回）	鳴門市立明神小学校
令和6年9月18日	環境学習講座（第21回）	阿南市立羽ノ浦小学校
令和6年9月20日	環境学習講座（第22回）	阿波市立御所小学校
令和6年9月26日	環境学習講座（第23回）	上板町立高志小学校
令和6年9月30日	環境学習講座（第24回）	小松島市立千代小学校

令和 6 年 10 月 09 日	環境学習講座（第 25 回）	美馬市立江原南小学校
令和 6 年 10 月 17 日	環境学習講座（第 26 回）	小松島市立児安小学校
令和 6 年 10 月 29 日	環境学習講座（第 27 回）	吉野川市立知恵島小学校
令和 6 年 11 月 09 日	サイエンスフェア2024	あすたむらんど徳島
令和 6 年 11 月 16 日	工場へ出勤！ 水の調査探検 2	日亜化学工業(株)

I. 環境学習講座

環境学習講座（第 1 回～第 27 回） 県内各小学校 イベント風景

環境学習出前講座の構成

- ①座学（污水のお話）：污水の基礎的内容を説明。
- ②座学（地域の生活排水）：水の循環を中心とした話で、地域における飲み水の水源や污水处理施設等から排出される污水の放流先について説明。
- ③実験（水の汚れを知ろう、体験しよう）
COD パックテストによる水質検査やろ過を原理とする水質浄化実験。



II 子供向け環境啓発活動

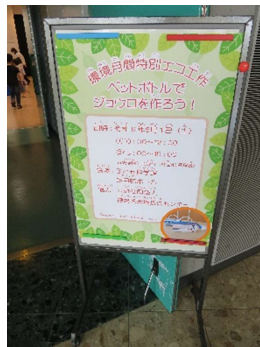
環境啓発活動（第1回）

環境月間エコ工作

～「ペットボトルでジョウロを作ろう！」～

1. 開催日時 令和6年06月01日 1回目10:00~12:00 2回目13:00~15:00
2. 開催場所 あすたむらんど徳島 こども科学館
3. 目的

プラスチックごみが環境問題でクローズアップされていますが、すぐに解決するのは難しい課題です。そこで、使用済みペットボトルをリメイクすることで、ゴミの削減について意識付けをし、子供たちに楽しく学んでもらう事を目的としています。



環境啓発活動（第2回）

夏休み出勤！ 川の調査探検

1. 開催日時 令和6年07月27日 09:00~12:30
2. 開催場所 阿南高専 三谷川～打樋川
3. 構成

川の観察や実験を通じて、水環境の保全に関心を持ってもらうため座学後実際に川の様子の観察や水質検査を行い、CODパックテストを使って、水の汚れ度合いを調べました。



環境啓発活動（第3回）

楽しく学ぼう水環境 夏×自由×探求！

1. 開催日時 令和 06 年 08 月 24 日 10：00-11：30
2. 開催場所 エコみらいとくしま
3. 目的

実験として、台所から出る汚水の汚れ具合を COD パックテストを用いた簡易測定で行い、生活排水の環境への影響を学習し、家庭での汚れをどのようにして減らすことができるのかを考えてもらうことを目的にしています。



環境啓発活動（第4回）

サイエンスフェア2024 高くとべ！ストローロケット

1. 開催日時 令和 06 年 11 月 09 日 10：00-16：00
2. 開催場所 あすたむらんど徳島
3. 目的

職員が参加者と一緒に、ストローや牛乳パックを使って工作し、マイクロプラスチック問題や、リサイクルについて興味、関心を子供たちに持ってもらうことを目的としています。



環境啓発活動（第 5 回）

工場へ出勤！水の調査探検 2

1. 開催日時 令和 06 年 11 月 16 日 09：20-12：00
2. 開催場所 日亜化学工業(株)本社
3. 構成

工場見学を通じて工場排水の仕組みを知り、水環境の保全に関心を持ってもらうため座学後 COD パックテストを使って、水の汚れ度合いを調べました。



浄化槽教室

～浄化槽教室の取り組み～

～

新しく浄化槽の設置届出手続きをした方を対象に浄化槽教室を開催し、浄化槽を適切に使用していただけるよう、浄化槽の「しくみ」や「使用上の留意点」、「浄化槽法」について学習していただく。受講者には受講証明書を発行。

令和 6 年度浄化槽教室 全 20 会場

東部保健福祉局 徳島保健所管轄	(昼：10 会場(内休日 3 会場)・夜：3 会場)
東部保健福祉局 吉野川保健所管轄	(昼：3 会場)
南部総合県民局管轄	(昼：3 会場)
西部総合県民局管轄	(昼：4 会場)

受講者数 1,128 名（会場受講 155 名、その他 WEB 教室等 973 名）

徳島会場



吉野川会場



阿南会場



美馬会場



津田会場



令和6年度「浄化槽の日」ポスターコンクール

ポスターコンクール作品選考会（審査会）を実施しました。

1. 開催日 令和 06 年 10 月 03 日
2. 開催場所 徳島県庁

応募作品 85 点（小学校：65 点・中学校：20 点）から、最優秀：2 点・優秀：6 点・佳作：20 点）が選出されました。



令和 6 年度「浄化槽の日」ポスターコンクール表彰式が執り行われました。

1. 開催日 令和 06 年 11 月 18 日
2. 開催場所 徳島県庁 11 階

最優秀賞受賞者 2 名（小学高の部、中学校の部各 1 名）、
優秀賞受賞者 6 名（小学高の部、中学校の部各 3 名）において、徳島県政策監による表彰状の授与式を行いました。



尚、優秀作品については、県庁で一般公開が行われました。
また、令和 7 年度のポスターカレンダーとして活用され、県内小中学校に配布されました。

令和6年度「浄化槽の日」ポスターコンクール優秀作品

最優秀賞



国府小学校 青木 勇麻(6年)



池田中学校 吉川 美希(2年)



川島小学校 尾崎 めい(4年)

優秀賞



新町小学校 和田 実結(6年)



鴨島小学校 矢部 晃誠(2年)



津田中学校 池村 風香(3年)



国府中学校 青木 蒼空(3年)



上板中学校 小谷 優維(3年)



環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟等の有無

◆適用される主な環境関連法規制は次の通りです。

(評価運用期間：2024/04/01～2025/03/31)

適用される法規制	適用される事項	遵守状況
浄化槽法	浄化槽の適正な維持管理(保守点検・清掃・法定検査の実施)	遵守
徳島県浄化槽取扱要綱	浄化槽に関する事務の手続き事項の遵守	遵守
徳島県気候変動対策推進条例	環境に配慮した自動車の運転等を推進する者の選任 温室効果ガスの排出を抑制するための取組み。	遵守
道路交通法	安全運転管理者の選任。 車両の大きさ・重量、通行制限等	遵守
道路交通法施行規則	安全運転管理者による運転開始前、 運転終了後のアルコールチェックと管理	遵守
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、日常の車両定期点検	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品の適正な運用(定期点検・簡易点検等)	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出。 委託契約締結・許可証の確認。マニフェストの交付と5年間の保存 マニフェスト交付実績の報告	遵守
水質汚濁防止法	排水基準の遵守・排水測定	遵守
計量法	計量証明事業の登録 事業規程の遵守	遵守
化管法/PRTR法	指定化学物質等の取扱等に係る適正な管理	遵守
毒物及び劇物取締法	取扱責任者の選任・保管・表示義務・廃棄方法の遵守	遵守
徳島県生活環境保全条例	指定化学物質等の取扱等に係る適正な管理	遵守
消防法	消防用設備等の点検と報告(火災報知器等)	遵守
グリーン購入法	可能な限りの環境配慮物品の購入	遵守

遵守評価日 2025年04月30日

当センターに適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

◆ 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施概要

評価実施日	2025年05月20日
評価期間	2024年04月01日 ～ 2025年03月31日
実施場所	(公社)徳島県環境技術センター
実施者	環境管理統括責任者(代表者 田村 茂人)
資料・記録	エコアクション21 環境関連 《文書と記録》

実施内容

項目	代表者の指示事項(変更の必要性)
環境経営方針	◆変更の必要無し。 ・環境経営方針の周知を図ると共に、引続き全職員が一丸となり活動を行うこと。
環境経営目標及び環境経営計画	◆変更の必要無し。 ・環境負荷の削減に向けてより適切な対応に努め、定期的に予防処置など呼びかけること。
実施体制	◆変更の必要無し。 ・新たな取り組みにあたって必要であれば体制の見直しを検討すること。

総括(全体評価)

当センターのエコアクション21の取組については、今年度も「環境活動計画」に基づき、全職員が環境意識の向上と環境負荷の低減に向けて、積極的に取り組んだ一年となった。

特に、年度途中ではあるが「ノー残業デー」を導入し、働き方の見直しとエネルギー消費の抑制を図るとともに、社内掲示板やグループウェアを活用した継続的な情報発信により、職員の日常業務における環境配慮の意識づけと行動の定着を促した。

環境経営目標の実績については、
○「ガソリン使用に伴うCO₂排出量削減」、
○「一般廃棄物の削減」、
○「水使用量の削減」
の3項目で目標を達成することができた。

一方、目標未達となった項目については、その原因と今後の対策を検討した。
・「電力使用に伴うCO₂排出量削減」について、前年度まで倉庫として使用していたフロアを事務室へ転用したことにより、空調設備や照明の常時使用が必要となり、目標を達成できなかった。
・「浄化槽教室の受講率」については、前年度と同水準に留まっていることから、引き続き工夫や改善に向けた取り組みが必要と考えている。

なお、「浄化槽法定検査受検率向上の推進」については、環境学習や啓発活動を計画に基づき実施しており、これらの取組は短期的な効果が見えにくいものの、継続することで確実に意識の醸成と行動変容につながるものであると認識している。

これらの結果を踏まえ、今後は施設利用の実態や業務環境の変化を十分に把握・配慮しながら、継続的かつ効果的な取組の実践を図っていく。引き続き、全職員が一丸となって、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に向けて、着実に取り組んでいきたい。

